

研修の狙い

“褒め言葉カード”インストラクターになりたい方へ！！

新カリキュラムの褒め言葉カードアドバンスインストラクター養成講座について開講の趣旨をお話いたします。2500年前に老子は「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。やったことは、わかる」と言ったそうです。この老子の言葉を記憶に残る割合として数字で表現すると、聞いた時10%、見た時15%、話し合った時40%、体験した時80%、そして、教えたときは90%が記憶に残るというデータがあります。(参考ラーニングピラミッド)褒め言葉カードインストラクター養成講座は、「楽しく習う」楽習モデルを使ったインストラクターを養成する講座です。戦後学校教育は「工場モデル」と言われ、画一的な単純作業を行う人を育成するプログラムが中心でした。社員研修で主流となっている講師が一方向的に話しをする「工場モデル」は「真面目、受け身的な学習、つまらない、競争」と言うイメージがします。一方、「楽習モデル」は「明るく、笑いがあり、出会いがあり、動きがある」教育方法です。主役は受講生です。受講生が「気づき」「学ぶ」ことにより、笑いをもち、お互いの理解を深めあい、成長することができます。そして、このような研修のノウハウを学んで活用できると、コミュニケーションの活性化ができて、より良い人間関係を構築することができるのです。その楽習メソッドをしっかりと学ぶことができるのが、今回の褒め言葉カードインストラクター養成講座です。*ベーシック講座受講者だけがアドバンスセミナーの受講資格があります。

[特典]⇒褒め言葉カード協会オリジナルの褒め言葉カード研修のコンテンツの提供
～翌日から、褒め言葉カード研修のインストラクターができるようになります。
※“褒め言葉カード”は商標登録商品です。許可なくご利用することはできません。

【受講料】 10万円+消費税*内訳 講座受講料と商標登録商品年間使用料込み(来年12月31日まで)
早期割引実施「7万円+消費税」(75600円) 12月末日まで限定
お申し込みはメールでこちらにお願いいたします→jimukyoku@homekotoba.jp

1、楽習メソッド活用 ⇒ 受講者が楽しく学び、自己成長を実感できる手法(テキスト学習)

1)工場モデルと楽習モデルの違い(学びスタイル、講師の役割、講師の関心、受講生のゴール、学びの環境、仲間の存在、アフターフォロー)
2)ラーニングピラミッド 3)受講してつまらなかった講座の特徴 4)教わりたくない講師例 5)講師として必要なこと(講座内容と資質)
6)教え方の基本(人は学びたいことしか学ばない、積極的に参加意欲を持つと学びの質・量が飛躍的に増える、学ぶ意味・価値を認めると積極的に学ぶ、安心して学べる環境が必要、協力して学ぶと効果は高い、振り返りとフィードバックがあると良く学べる、お互いに称えあったり、教えあったりすると良く学べる。7)楽習モデルの場の作り方(緊張をほぐす、笑いを演出、意見が出やすいようにする、参加者が親しくなる。

2. 褒め言葉カード研修体験 ⇒ 仕事もプライベートも明るく元気になる10個の実習体験と褒め言葉カード講師研修(翌日から講師ができます)*時間の都合で割愛する実習もあります。

1)リング実習 2)アイコンタクト・あいさつ実習 3)ハッピー&スマイル 4)どちらが好きか実習 5)褒め言葉あいさつ実習
6)即効褒める実習 7)拍手の実習8)後出しじゃんけん実習9)早口言葉実習、10)褒め言葉カード講師研修

3、参加特典

1)企業様向けプレゼン用パワーポイント資料のデータ提供 2)以後の褒め言葉カードベーシックセミナー参加無料(年内有効)

◆日程 東京開催10時~18時

1月8日(日)、1月20日(金)

・会場 浅草文化観光センター中会議室4F

◆日程 大阪開催10時~18時

1月13日(水)

・会場 此花会館研修室 502号室

・振込先:みずほ銀行 雷門支店

(普)1059498

一般社団法人日本褒め言葉カード協会 *お申し込み後三日以内にお振込みをお願いいたします。



お問合せは
下記へ